

たまの創生総合戦略（第2期）の策定について

1. 趣旨と背景

現在の総合戦略は、国のまち・ひと・しごと創生総合戦略等を勘案し、本市の「人口減少対策」、「地域活性化」に主眼を置き平成27年度からの5カ年の目標や基本的方向、具体的施策・事業を示すために策定したものである。（資料⑤）参照

今年度、当該期間の最終年を迎えることから、これまでの各施策の取組など検証を行った上で、たまの長期人口ビジョン（以下、「人口ビジョン」という。）に掲げた将来展望の実現に向け、施策の見直しや重点化を図り、より実効性のある戦略に改定するもの。

なお、事業毎のKPI（重要業績指標）の設定及びPDCAサイクルに基づく検証は継続し、着実に各事業の成果目標を達成することで、将来展望の実現を図る。

2. 人口ビジョンの見直し

「たまの長期人口ビジョンの見直しについて」（資料⑥）参照

3. 策定に当たっての考え方

①平成28年1月に策定した現在の総合戦略に掲げた4つの基本目標（雇用創出、移住・定住、結婚・出産・子育て、まちづくり・地域間連携）は維持し、国の第2期戦略に掲げる新たな施策等を注視しながら作業を進めるものとする。

②人口ビジョンは、昨年度、総合計画の策定に合わせて時点修正を行っていることから、第2期戦略では、人口ビジョンに掲げた目標の達成を図るため、人口減少抑制により直接的につながる以下の項目に特化した形での見直しを検討する。

(1)若者（10代後半～20代）が市内へ留まる（転出抑制又はUターンする）ための施策

(2)子育て世代（20代～40代前半）の定住促進につながる施策

4. 策定スケジュール

新たな総合戦略の策定スケジュールは（資料⑦）参照

5. 検証結果

「平成30年度たまの創生総合戦略基本目標等検証資料」（資料⑧）参照